

新住園景

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

6月10日に柿原で行った「廃村探検ピクニック」は学生や町外からも参加いただき、廃村という不思議な雰囲気の中で写真撮影を行いました。プロの写真家にカメラの基本的なことから応用まで、質問しだりの確なアドバイスをもらったり、また、動植物の生態を知れば、シャッターチャンス逃さなくなるなど、カメラの技術以外のことについても学ぶことができました。それぞれの感性で撮った写真をみんなで見せ合い交流も生まれましたし、廃村の中に隠したカエルの人形を写



足立 智

真に撮るゲーム等で楽しい時間を過ごしました。次回は場所や時期を変えてカメライベントを行い、多くの方に八頭町の魅力を知ってほしいと思っています。

溪流民宿とんぼ屋で水生植物の栽培を始めました。オモダカやコウホネ、スイレンやハスなどには高い癒し効果があります。今後は八頭町産の植物を増やしていくつもりです。メダカと一緒に飼うと涼し気で、癒し効果も高まりますよ。



八頭ふる里かかし親の会さんの活動に参加させていただいています。親のみなさんは、水曜と土曜にかかし工房(旧郡家商工会館)でのかかし作りを行いながら、八頭町のPRや活性化に取り組み、八頭町を訪れるお客様をもてなそうと励んでおられます。その活力には、いつも驚かされていますが、先般はNHK鳥取放送局の近藤アナウンサーのかかしをプレゼントしてきました。かかしは、本当にご本人そっくり作られていて怖いぐら



佐藤 竜也

いなので、近藤アナウンサーが、「ご自身にそっくりなかかしをプレゼントされて、喜んでもらえるのか少し不安でしたが、大変喜んでいただくことができました。大きく大変感謝しています。

昨年度は、香川県三豊市の合併十周年にかかしをプレゼントさせていただきました。皆さんもとてもびっくりされながらも、喜んでいただけました。





磯野 秀基

梅雨の季節になりました。

雨の日が続くのは疎ましい気分にもなりますが、この時期の雨は果樹や稲の生育に重要な、まさに「恵みの雨」となります。同時に雑草も伸びますのでやはり畑には出かけていく今日この頃です。

さて、先月号では大御門地域での共同田植え準備の様子をお届けしましたが、その後育った苗を地区の方と一緒に田んぼに植えました。田植えはもちろん機械で行いますが、機械できれいに植えることのできない部分は手植えで行います。



私は主に苗箱の運搬や洗浄、苗箱の下に敷いていた網の片付けなどを行いました。この共同田植えに参加するのも今年で3年目になります。作業の要領を得たこともあつてか昨年までとは違う作業を任されることもあり、そのことが少し嬉しかったりもします。

高齢化からか年々共同田植えに参加する家の件数も少なくなっているそうです。継続が難しい状況かもしれないですが、今年も来年も大御門地域でおいしいお米が実ることを期待しています。



嶋田 喜朗

先月号をご覧になった方から「嶋田君はニラのことばかり」と言われました。

ですが、めげずに今回も土手ニラに絡んだ話です。

東集落と皆原集落のちようど中頃に『東村勘右衛門の碑』がある広場があります。県道のカーブに面したところなので、たいいていの方は通り過ぎてしまいます。

写真の顕彰碑は、昭和40年に地元有志の方々によって建立されました。今から約280年前のこの地に生きた勘右衛門の業績を偲んでのことです。鳥取藩



政時代の苛政に苦しむ人々のために百姓一揆（元文一揆）を蜂起したことが有名な話ですが、八東川の洪水への対応（土手の築造）や、飢饉に備えて土手にニラを植えたことが、現在のニラ保存会の活動に通じています。

眼前の課題に対応しつつも未来を見据えた行動には、見做すべき点が多々あると感じています。忙しくなく流れていく時間の中にあつても、地域の偉人を通じて自身の過去を省みるための大事な場所です。

○協力隊フェイスブック

<https://www.facebook.com/yazukyouryokutai/>

○協力隊からのお知らせ

- ・7月22日（土）18:30~20:30
「レコード音楽会」（於：道の駅はっとう）＜嶋田＞

平成 29 年度【第3号】
平成 29 年 7 月 1 日発行
八頭町役場産業観光課
(0858-76-0208)

●「移住風景」バックナンバー

これまで発行した「移住風景」は、八頭町役場のホームページからカラーでご覧いただくことができます。

<http://www.town.vazu.tottori.jp/2630.htm>